



## 慶應義塾大学ビジネス・スクール

# 株式会社 Gunosy (短縮版)

5

## 1. Gunosy

株式会社 Gunosy (以下、Gunosy) は、スマートフォン向けニュース・情報キュレーションサービスの「グノシー」や「ニュースパス」等を開発・運営する企業である。2011年10月創業、2012年11月に法人化され、「情報を世界中の人に最適に届ける」を企業理念として掲げている。設立から約2年半後の2015年4月には特筆されるほどの短期間で東京証券取引所マザーズ(以下東証マザーズ)に株式上場を果たした。事業の中核である情報キュレーションサービス「グノシー」は、インターネット上に存在する膨大な量の情報の中から、アルゴリズム<sup>[1]</sup>を含む人工知能のテクノロジーを用いて、特定の基準に基づき情報を収集し配信する情報キュレーション<sup>[2]</sup>サービスである。アプリのダウンロード(以下、DL)数は、右肩上がりに増加しており、2017年2月には、「グノシー」と「ニュースパス」の累計アプリDL数は2,000万を超えた<sup>[3]</sup>。DL数は現在も増加を続けており、両アプリは2016年12月から2月の直近の四半期だけで、202万DLを記録した。また2016年5月期の売上高は前期比45%増の45.9億円、営業利益は前期比196%増の5.6億円を計上しており、会社設立以来、成長を続けている(Gunosyの概要及びビジネスモデルは**付属資料1～4**参照)。

2017年4月時点の常勤取締役の構成は、代表取締役最高経営責任者(以下CEO)に福島良典氏、代表取締役最高執行責任者(以下COO)に竹谷祐哉氏、取締役最高財務責任者(CFO)に伊藤

<sup>[1]</sup> アルゴリズム：問題を解決するための方法や手順のこと。問題解決の手続きを一般化するもので、プログラミングを作成する基礎となる。

<sup>[2]</sup> キュレーション：Web上の情報やコンテンツを収集し、収集した情報等を整理や分類することで新しい価値を持たせて一般に共有することを言う。キュレーターの語源は、博物館や図書館等の管理者や館長を意味する「Curator」からきている。

<sup>[3]</sup> 一般的にアプリにおいて1,000万DLを超えるというのはビッグヒットと言われる。ただし、DL数が必ずしも売れている論拠となる数値ではなく、ヤフーやLINEはアクティブユーザー数を公表している。(DL数は公開していない)

本ケースは、慶應義塾大学大学院経営管理研究科修士課程 M38 期生 小杉悠真、鈴木智也、中戸川靖、海老原淳、別宮真理子、同研究科教授 清水勝彦監修の下、クラス討議の資料として作成した。

公表資料・インタビューを基に作成したものであり、経営上の適切もしくは不適切な状況処理を例示しようとするものではない。本ケースは慶應義塾大学ビジネス・スクールが出版するものであり、複製等についての問い合わせ先は慶應義塾大学ビジネス・スクールまで(〒223-8526 神奈川県横浜市港北区日吉4丁目1番1号、電話 045-564-2444、e-mail: case@kbs.keio.ac.jp)。慶應義塾大学ビジネス・スクールの許可を得ずに、いかなる部分の複製、検索システムへの取り込み、スプレッドシートでの利用、またいかなる方法(電子的、機械的、写真複写、録音・録画、その他種類を問わない)による伝送も、これを禁ずる。ケースの購入は <http://www.bookpark.ne.jp/kbs/> から。

Copyright © 清水勝彦、小杉悠真、鈴木智也、中戸川靖、海老原淳、別宮真理子 (2018年11月作成)